

令和5年2月22日(水)

山形県立山形聾学校

自立活動部

今年度、本校では、透明ディスプレイ「Raelclear(TM)(レルクリア)」をお借りして、教育活動での実践に取り組んできました。

様々な教育活動や会議などで活用してきた中で、本校のホームページで紹介した活用場面及び場所は、以下のとおりです。

今年度紹介した活用場面	主な活用場所
運動会	グラウンド(屋外)
補聴機器学習会・展示会の受付	職員玄関
文化祭(山聾祭)	体育館

表 レルクリアの活用場面と活用場所

本校では、音声認識アプリケーションの「UD トーク (Shamrock Records 株式会社)」も、教育活動全般で活用できるように取り組んでいます。その際には、「いつでも、どこでも、誰とでも」活用できるように心掛けています。

今年度の実践を通して、レルクリアも様々な場面や場所、相手に対して活用できることが明らかとなりました。



写真 レルクリア活用のために必要な電源と HDMI ケーブル

今後は、さらに活用の場面や場所を広げられるように、上記の写真の中で赤く囲んだ電源ケーブルや HDMI ケーブルの無線化に向けて考えていきます。そして、レルクリアの「いつでも、どこでも、誰とでも」活用できる可能性を広げる工夫を検討していきます。